

ほけんだよい



今年は涼しい夏の日が多く、最近は朝晩過ごしやすくなりました。園ではこれから運動会などの行事が目白押しです。疲れが出やすい時期でもあり、元気に活動が出来るよう今一度、子どもさんの健康状態を見直していきましょう。今回は内服についてお伝えします。



お薬服用 Q&A

*お薬の効果について

お薬は1日に服用する回数や量や時間など、指示された通りに服用することでお薬の効果が最大限に得られると言われています。反対に、その通りに服用しないと十分な効果が得られないということです!!!

一日3回(朝 昼 夜) 3日分・・・をしっかりと守りましょう
時間・・・薬を飲む時間は最低4時間空けましょう。

*「回復してきたのでお薬をやめました」と良く聞きます

薬は一日量だけではなく、日数分服用する事で効果が得られます。また、見た目には治っているように見えても体の中を覗いてみると元の状態に戻っておらず薬をやめたことで、またウイルスや菌が増殖し病気がぶり返してしまう事もあります。症状が改善、変化した場合は医師や薬剤師に確認相談して下さい。

*抗生物質の内服については注意が必要です!!

抗生物質は細菌が原因の病気に効果があり、使用をやめることで『耐性菌(薬が効かなくなる菌)』を作り出してしまい様態が悪化することがあると言われていますので、日数分の服用が原則とされています。(抗生物質は余分には出しません)
※インフルエンザ対応薬(リレンザ、タミフル等)も同じ原理です。

*「残っていた薬で様子を見ます」ということについて

お薬の処方、その時その時の症状に対して医師から処方されるものです。前回と症状が似ているという理由から前回処方された薬を服用させることで症状が悪化することもあります。下痢に効くお薬、咳に効くお薬、ウイルスの種類によって効果があるお薬など専門的な視点からお薬は処方されていますので、受診をされ内服をさせていただきますようお願いいたします。早く良くなる一歩だと思います。



0、1歳児 にじ ひかり組

アデノウイルス感染症 1名

2歳児 そよかせ組

なし

3・4・5歳児

なし

※8月、夏休みでお休みする子ども達は多かったですが、病気で欠席はなく元気に夏を過ごしました。